

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【公表番号】特表2008-520705(P2008-520705A)

【公表日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【年通号数】公開・登録公報2008-024

【出願番号】特願2007-543269(P2007-543269)

【国際特許分類】

C 07 C 401/00 (2006.01)

A 61 K 31/59 (2006.01)

A 61 P 3/02 (2006.01)

A 61 P 3/00 (2006.01)

A 61 P 19/08 (2006.01)

A 61 P 19/10 (2006.01)

A 61 P 17/06 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

C 07 F 7/18 (2006.01)

【F I】

C 07 C 401/00 C S P

A 61 K 31/59

A 61 P 3/02 1 0 2

A 61 P 3/00

A 61 P 19/08

A 61 P 19/10

A 61 P 17/06

A 61 P 35/00

C 07 F 7/18 W

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月18日(2008.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

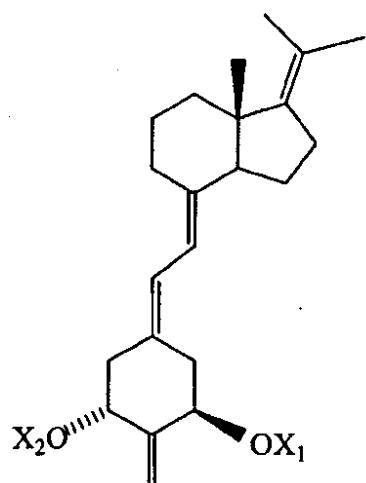
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式：

【化1】



(式中、 X_1 および X_2 は同一であっても異なっていてもよく、それぞれ水素またはヒドロキシ保護基から選択される) を有する化合物。

【請求項2】

X_1 が水素であるか、または X_2 が水素である、請求項1記載の化合物。

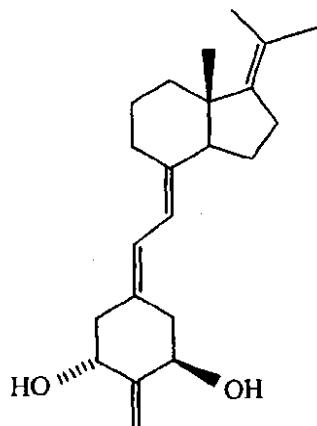
【請求項3】

X_1 および X_2 が共に *t* - ブチルジメチルシリルである、請求項1記載の化合物

【請求項4】

式：

【化2】



を有する2 - メチレン - 19 - ノル - 1 - ヒドロキシ - 17 - エン - ホモプレグナカルシフェロール。

【請求項5】

薬学的に許容される賦形剤と共に請求項1または4に記載の少なくとも1の化合物の有効量を含有する医薬組成物。

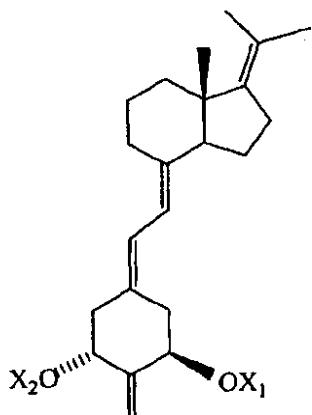
【請求項6】

前記有効量が組成物1g当たり約0.01μg～約1000μg、好ましくは組成物1g当たり約0.1μg～約500μgを含む、請求項5記載の医薬組成物。

【請求項7】

式：

【化 3】

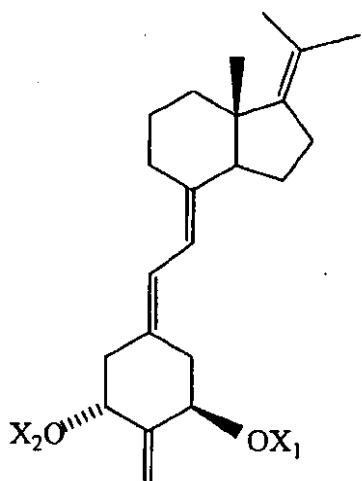


(式中、 X_1 および X_2 は同一であっても異なっていてもよく、それぞれ水素またはヒドロキシ保護基から選択される)を有する化合物の有効量を含む乾癬の治療用医薬組成物。

【請求項8】

式：

【化 4】

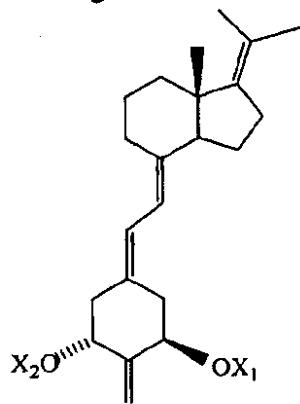


(式中、 X_1 および X_2 は同一であっても異なっていてもよく、それぞれ水素またはヒドロキシ保護基から選択される)を有する化合物の有効量を含む、白血病、結腸癌、乳癌、皮膚癌または前立腺癌からなる群から選択される疾患の治療用医薬組成物。

【請求項 9】

式：

【化 5】

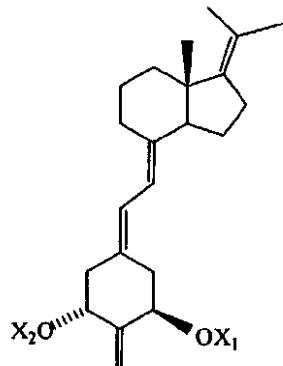


(式中、 X_1 および X_2 は同一であっても異なっていてもよく、それぞれ水素またはヒドロキシ保護基から選択される)を有する化合物の有効量を含む、多発性硬化症、狼瘡、糖尿病、移植片対宿主拒絶反応、および臓器移植拒絶反応からなる群から選択される自己免疫疾患の治療用医薬組成物。

【請求項 1 0】

式 :

【化 6】

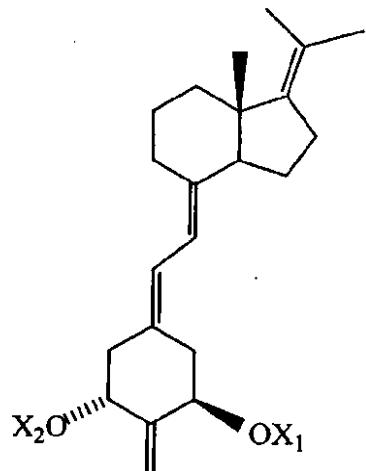


(式中、 X_1 および X_2 は同一であっても異なっていてもよく、それぞれ水素またはヒドロキシ保護基から選択される)を有する化合物の有効量を含む、リウマチ様関節炎、喘息、および炎症性腸疾患からなる群から選択される炎症性疾患の治療用医薬組成物。

【請求項 1 1】

式 :

【化 7】

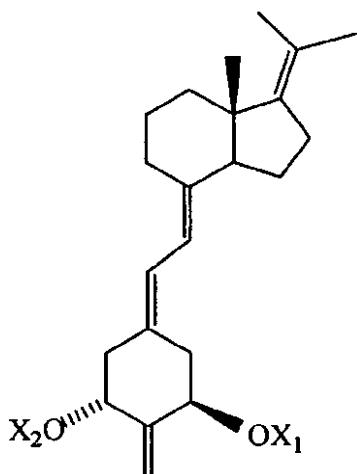


(式中、 X_1 および X_2 は同一であっても異なっていてもよく、それぞれ水素またはヒドロキシ保護基から選択される)を有する化合物の有効量を含む、小じわ、適切な肌の張りの不足、適切な皮膚の水分量の不足および皮脂分泌の不足からなる群から選択される皮膚の状態の治療用医薬組成物。

【請求項 1 2】

式 :

【化 8】

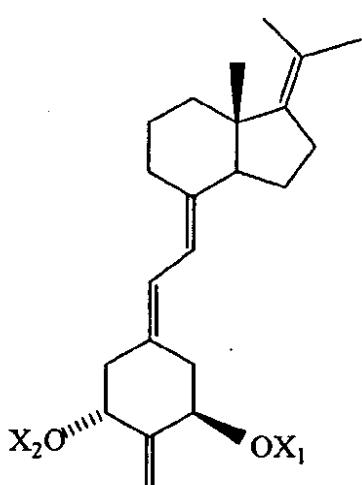


(式中、 X_1 および X_2 は同一であっても異なっていてもよく、それぞれ水素またはヒドロキシ保護基から選択される) を有する化合物の有効量を含む腎性骨異常症の治療用医薬組成物。

【請求項 1 3】

式 :

【化 9】



(式中、 X_1 および X_2 は同一であっても異なっていてもよく、それぞれ水素またはヒドロキシ保護基から選択される) を有する化合物の有効量を含む、動物における肥満の治療または予防、脂肪細胞分化の抑制、SCD-1 遺伝子の転写の抑制および / または体脂肪の抑制をするための医薬組成物。

【請求項 1 4】

化合物の投与経路が経口投与、非経口投与、経皮投与、直腸投与、経鼻投与および舌下投与からなる群から選択される請求項 7 - 1 3 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 1 5】

化合物の投与経路が局所投与である請求項 7 または 1 1 のいずれかに記載の医薬組成物。

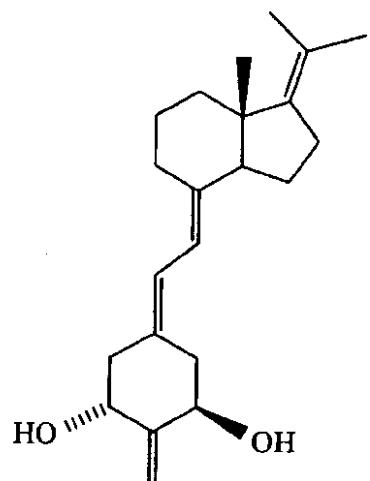
【請求項 1 6】

化合物が約 0.01 μ g / 日 ~ 約 1000 μ g / 日の投与量で投与されるように含まれている、請求項 7 - 1 3 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 1 7】

化合物が式 :

【化 10】



を有する 2 - メチレン - 19 - ノル - 1 - ヒドロキシ - 17 - エン - ホモブレグナカルシフェロールである、請求項 7 - 13 のいずれかに記載の医薬組成物。